

2016年6月9日

株式会社コロナ

～平成 28 年度 デマンドサイドマネジメント表彰～ コロナプレミアムエコキュートが 「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞」を受賞

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市 社長:小林 一芳)の、「自然冷媒CO₂家庭用ヒートポンプ給湯機 コロナプレミアムエコキュート」が、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター(理事長:小宮山 宏)主催の平成28年度 デマンドサイドマネジメント表彰^{※1}「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞」を受賞しました。

デマンドサイドマネジメント表彰^{※1}とは、平成26年4月に施行された改正省エネ法や、同年4月に閣議決定されたエネルギー基本計画を踏まえて、従来の「電力負荷平準化機器・システム表彰」^{※2}の表彰制度を見直し、表彰対象を拡大して、名称を改めたものです。この表彰は、電力負荷平準化について国民的理解を得るため、電力負荷平準化に資すると認められる機器・システムのうち特に優れたものを表彰することにより、電力負荷平準化システムの一層の普及および社会への啓発を図ることを目的としています。

コロナプレミアムエコキュートCHP-HXE37AX4は、省エネ性能業界No.1^{※3}の年間給湯保温効率(JIS)^{※4}4.0を達成し、電力小売自由化後の新しい電気料金メニューに対応できる3つのピーク電力抑制機能(ピークカット機能、沸き上げ時間シフト機能、パワーセーブ機能)を搭載した高効率な給湯機です。

今回は、高い省エネ性能と、新しい電気料金メニューに先行対応した3つのピーク電力抑制機能が評価されての受賞となりました。

★ 受賞機器の主な特長

1. 省エネ性能業界 No.1^{※3}の年間給湯保温効率(JIS)^{※4} 4.0 を達成

ヒートポンプユニットの効率化や沸き上げ制御の最適化、貯湯ユニットの保温性能を向上させました。これにより年間給湯保温効率(JIS)^{※4}4.0 を達成しました。

2. 3つのピーク電力抑制機能を搭載

新しい電気料金メニューに応じて運転をコントロールできる3つのピーク電力抑制機能を搭載しました。

① ピークカット機能

電気料金単価が高い時間帯のヒートポンプの沸き上げを停止することで、節電に貢献します。

② 沸き上げ時間シフト機能

朝方の電気の使用量が増える時間帯より前に、夜間の沸き上げを完了することでピークを抑えます。

③ パワーセーブ機能

ヒートポンプの消費電力を抑制することでピークを抑えます。

【本件に関するお問合せ先】 株式会社コロナ <http://www.corona.co.jp>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256(32)2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp

● 報道関係からのお問合せ先

株式会社コロナ 広報室

● お客様からのお問合せ先

株式会社コロナ 営業本部

※1: デマンドサイドマネジメント表彰の受賞歴

平成28年度(2016年)	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞	コロナ プレミアムエコキュート
平成27年度(2015年)	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞	コロナ プレミアムエコキュート

※2: 電力負荷平準化機器・システム表彰の受賞歴

第16回(2014年)	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞	コロナ プレミアムエコキュート
第15回(2013年)	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞	コロナ エコキュート ライト
第14回(2012年)	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞	コロナ プレミアムエコキュート HX シリーズ
第13回(2011年)	財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞	コロナ プレミアムエコキュート(寒冷地仕様)
第12回(2010年)	財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞	コロナ エコキュート 多機能シリーズ
第11回(2009年)	経済産業省 資源エネルギー庁長官賞	コロナ プレミアムエコキュート HX シリーズ
第9回(2007年)	財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター振興賞	多機能タイプエコキュート
第4回(2002年)	経済産業省 資源エネルギー庁長官賞	自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯機

※3: 国内の家庭用ヒートポンプ給湯機 一般地向け貯湯量 320L 以上 460L 未満において。
CHP-HXE37AX4(貯湯量 370L) 2016年6月1日時点

※4: 年間給湯保温効率(JIS)は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率(JIS)とし、以下の式で求められます。

年間給湯保温効率(JIS) = 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

年間給湯保温効率(JIS)の算出時の条件

着霜期高温加熱条件: 外気温(乾球温度/湿球温度)2°C/1°C、水温 5°C、沸上げ温度 90°C

冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度 67°C、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度 67°C



受賞機器: コロナ プレミアムエコキュート CHP-HXE37AX4